

## 国際環境協力専門家育成研修の研修プログラムパターン

< 第 1 週 >	< 第 2 週 >	< 第 3 週 >
<b>オリエンテーション</b>		
<b>幅広い知識の習得</b> 基調講義（その 1：地球社会の持続可能な発展に我が国が果たすべき役割）	基調講義（その 2：途上国の地域構造の変化と環境問題）	
<b>途上国専門家活動に関する知見の蓄積</b> 環境専門家の業務への理解 ・ 環境専門家の業務と生活（帰国専門家との意見交換）		
<b>ニーズ把握能力の向上</b> 国別の具体的事例への理解 ・ 途上国の環境行政の最新動向とニーズ		
<b>知識応用能力の向上</b> 途上国の開発と環境問題への総合的理解 ・ 途上国の環境・開発問題の概要（経済社会的事情、環境汚染、生物多様性） ・ 理論的枠組み（国際環境政策概論、国際開発政策概論） ・ 重要課題への理解（地球環境保全の条約と途上国）	<b>知識応用能力の向上</b> 環境協力の理念と仕組みへの理解の深化 ・ 概論（環境協力の理念と様々な主体による環境協力の概要） ・ 二国間・多国間環境協力の実際 ・ 国際協力における環境配慮 ・ プロジェクトマネジメントの理論と実際 我が国の公害経験への理解の深化 ・ 概論（我が国の公害経験の全体的評価と環境協力に際しての留意点） ・ 各論（公害健康被害対策、地方自治体の取組、エネルギー政策との関連） ・ 現地見学（中小企業環境保全施設）	<b>知識応用能力の向上</b> 専門的知見の深化 ・ 環境政策と環境モニタリングの意義と役割 A 行政分野グループ ・ 国際社会における新たな環境政策の概念や手法への理解、（環境リスクマネジメント、Pollution Prevention、環境管理システム、LCA、経済的手法、流域管理、持続可能な都市管理、環境アセスメントに関する国際的動向） B 分析分野グループ ・ 環境汚染のメカニズム ・ 環境分析ラボの安全管理手法 ・ 試薬等管理 ・ 異質環境条件下における環境分析法 各主体による環境協力への理解 ・ 地方自治体の環境協力 ・ 環境NGOの活動事例
		<b>技術応用実習</b> B 分析分野グループ ・ 環境分析ラボの安全管理 ・ 異質環境条件下における環境分析
<b>基本能力の向上</b> ・ プレゼンテーション技法の理論と実際（講義） ・ ディベートの理論と実際（講義）	<b>基本能力の向上</b> ・ プレゼンテーション演習 ・ ディベート演習	<b>基本能力の向上</b> ・ 異文化コミュニケーションの理論と実際 ・ インターネットを通じた情報収集技法
	<b>研修の中間的まとめ</b> ・ グループ討議（途上国の環境協力のニーズと適切な環境協力の仕組み）	<b>研修の締めくくり</b> ・ 評価会